

杉戸町こども計画（素案）に対する意見及び町の考えについて

1 意見募集の概要

- ① 意見募集期間：令和6年12月10日（火）から令和7年1月10日（金）まで
- ② 意見募集の周知：広報すぎと、町ホームページ
- ③ 閲覧場所：町ホームページ、杉戸町役場（子育て支援課、行政情報コーナー）、公民館（西・東）、生涯学習センター、保健センター、子育て支援センター（杉戸・泉）、町内幼稚園・保育園
- ④ 意見の提出方法：窓口を持参、郵送、FAX、電子メール、電子申請

2 意見募集の結果

- ① 提出者数： 6人（提出方法：窓口 1通、電子申請 5通）
- ② 意見等総数：11件
- ③ 反映件数： 3件（No.5-①・②・④）

※ 意見の概要と意見に対する町の考え方は別紙のとおりです。

※ 意見については、一部要約の上、記載しているものがあります。

No.	項	意見の概要	意見に対する町の考え方
1	①	杉戸町に耳鼻科が少ないので、小児でも安心して通える耳鼻科がほしいです。	現在、耳鼻科は町内に2か所あります。新たな耳鼻科の開設には、限られた医療資源の中、医師会をはじめとする地域の医療機関の協力が必要不可欠となりますので、引き続き、地域全体で連携を図り、町民の皆様が安心して生活できる医療の提供体制の確保に努めます。
	②	自分の住んでいるところは設備の整っていない公園しかないため、魅力的な公園ができたら嬉しいです。 また、バスケットゴールを倉松公園にほしいです。	身近な遊び場や居場所の充実のため、地域の公園の整備につきましては、町においても必要性を認識しているところです。 しかしながら、町財政は依然として厳しい状況が続いており、大規模な公園整備や設備更新は非常に困難な状況です。 今後、住民の皆様のご要望を踏まえ、公園整備や設備更新を検討します。
2	①	町内小中学校での、PTA役員・PTA活動について、町が主導して廃止・縮小して欲しい。 立候補する時期について、それぞれのライフステージに合わせ選択することができず、また、活動における拘束時間も不明なため、心理的な負担が大きいものとなっています。共働き世帯が増加している	PTAは、保護者と教職員が協力し、家庭や学校における教育に関して相互に理解を深める団体であり、児童生徒の健全な成長を図る上で、重要な役割を果たしています。また、PTA活動は、学校行事の運営の補助やこどもの安全・安心の確保など、学校教育を支える重要な役割も担っています。

		中、平日の昼間に行う活動が、子育て世代の実情に合っていません。役員という形ではなく、必要な時だけ保護者の協力を募るという形でも良いと思います。	教職員と保護者がPTAの意義を理解し、こどもたちのために何ができるか、どのように取り組むかなどを考えながら、一部の保護者に過重な負担がかからないよう配慮するとともに、誰もが参加できる活動にしていくことが大切であると考えます。
	②	カルスタでの障がい者週間の展覧会を見に行ったが、全ての学校の特別支援学級の展示があるのではなく、何校かが出ているという形だったので、疑問を感じた。展覧会をするのであれば全ての学校に出してもらった方が良いのではないか。	障がい者週間記念事業の作品展示については、町内全ての小学校へ出展依頼をしたところですが、開催日時の都合により2校の出展となった状況です。 なお、時期は異なりますが、毎年2月上旬に「なかよし作品展」を開催し、町立小・中学校の特別支援学級で学んでいるこどもの作品を披露しています。
3	①	私は子育てを控えており、将来的な子育て環境に大きな期待を寄せています。 私は日頃から育児に関する情報収集をしており、病児保育や乳幼児一時預かりが、子育て世代にとって非常に重要な支援であると耳にしています。我が町では病児保育がすでに整備されており、大変心強く思っています。 一方で、乳幼児一時預かり体制はまだ十分に整備されていないように思われます。祖父母が近くにいない等の家庭は、急な用事や親の体調不良の際に安	保育ニーズの状況や令和8年度から実施予定の乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の事業内容等の検討にあわせ熟思します。

		心して子どもを預けられる場所がなく、育児の負担が大きくなりがちです。また、0歳児の育児は特に負担が大きいため、乳幼児一時預かりが利用できれば、親の負担を軽減し、子どもを安心して育てる環境を提供できるのではないのでしょうか。 子育て世代に寄り添う町として、乳幼児一時預かり体制の整備について検討をお願いします。	
4	①	個人的に、養育を放置されているお子さんが気になっています。 例えば全国的に子供食堂であったり、その他諸々の素敵なイベントが子供のために開催されていますが、その恩恵を受けられるのは、結局その情報を知っている親や子供に関心がある親の子供であり、その情報を知らなかったり、そもそも子供に関心がなければ、素晴らしい子供に向けた企画の恩恵を受けられることはないでしょう。そのことを不憫に思ってしまうのです。 私の一意見が芽を出し、やがて花が咲くような杉戸町になってくれたら幸せです。	虐待の一種であるネグレクトについての相談・発見及び疑いがある場合につきましては、こども家庭センターにご連絡をいただければと思います。地域の方々の「目配り」「気配り」がこどもを虐待から救うことになりますので、引き続き、町ホームページ・広報紙等を介して、こども家庭センターの周知を図るとともに、各支援機関との連携を強化しつつ、更なる子育て支援施策の拡充に努めます。
5	①	◎基本目標4 P35 (P36・P49) 標題及び本文について、わかり易い文章にしていただければ有難い。 困難な状況に陥った場合、より深く接すること	ご提案のとおり、標題を修正いたします。また、本文についても、ご提案のとおり、一部内容を修正します。

	(アタッチメント)で不安から解消されることが求められます。 併せて、心から安心して安らげることも望まれます。そして、安心して探索をくり返しながら、「自立に向かっていく」ことが「解決」ということではないでしょうか。 【標題変更案】 困難な状況を抱える子育て家庭を細やかに支えるまち 【本文変更案】 全てのこども・若者・子育て家庭を支えるために、経済的な支援や養育支援等を充実させるほか、悩みや問題を受け止め、寄り添い、より深く接することにより、不安を解消し自立に向かうことが出来るよう支援します。	
②	◎利用者支援事業（こども家庭センター）P63 ◎子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）P70 他の事業と同様に事業の実施所在地の説明があると有難い。	「こども家庭センター」は、子育て支援課、「ココティすぎと」複合施設2階及び保健センターの3か所に設置しています。また、「ファミリー・サポート・センター」におきましても、「ココティすぎと」複合施設2階に設置しています。 ご指摘いただきましたとおり、本文に記載します。

	③	◎妊婦等包括相談支援事業 P80 伴走型相談支援として説明があるが、他に同様の伴走型支援の事業があるかどうかの説明があると有難い。 併せて、参考までに、寄り添い型支援の有無の説明があると有難い。	P80 の内容は、「妊婦等包括相談支援事業」を説明したページであり、妊婦・その配偶者等に寄り添った面談等の実施により、必要な情報提供や相談に応じつつ、ニーズに応じて必要な支援につなげる「伴走型相談支援」を行う事業として新設されたことを記載しています。そのため、「妊婦等包括相談支援事業」に特化した掲載内容とします。
	④	◎その他 用語解説欄（ページ）を設けていただけるかどうか。 場合によっては、用語が難解と思われることも想定されるので、平易に解説していただけると有難い。	ご提案のとおり、用語解説欄を設けます。
6	①	時々、病児保育を利用させてもらっていますが、どうしても予約がいっぱいで入れず仕事を休まざるをえない時があるのでそちらも検討いただければと思います。 子供や家族の事に関しては、十分に支援をしてもらっていると思うので今後も利用出来たらと思います。	当該事業の利便性の向上を図るため、令和6年度より利用定員及び利用時間を拡充しています。 今後においても保育ニーズを的確に捉え、適正な事業の運営に努めます。